経済政策プログラム

財政、福祉、地域の課題に焦点を充てて社会制度を考える

経済政策プログラムでは、財政や福祉、地域の問題を通じて、現代の社会制度に関わる具体的な諸課題に取り組みます。高知県というフィールドは、人口の少子化・高齢化問題という観点からみれば全国で最先端の課題を抱えており、地域の産業、福祉、行財政のあり方など、幅広い視野から課題の解決を行い、逆に全国に発信していくことが求められています。そこで、高知県というフィールドを中心に現代社会が抱えている具体的な政策課題を学ぶことで、将来的に公務員等の政策立案に関わる進路の希望を持っている学生や、地域や企業のリーダーとして活躍することを考えている学生が、経済的観点から諸課題の分析を行うことのできる能力を身に付けることができるようになることを目指しています。

学べる科目

日本経済概論、財政学、地方財政論、国際経済論、社会保障論、福祉経済論Ⅰ、福祉経済論Ⅱ、農業経済論、産業立地論、地域社会学、国際水産開発論、地域水産振興論、中国経済社会論、アジア経済社会論、ラテンアメリカ経済社会論、ヨーロッパ・ロシア経済社会論、経済政策基礎演習、経済政策特殊講義、社会制度設計演習Ⅰ、社会制度設計演習Ⅱ

進路、就職先

【企業等】朝日放送、阿波銀行、高知県信用農業組合連合会、小松印刷、サニクリーン四国、サンテレビジョン、JA板野郡、JA兵庫六甲、スズキ自販高知、損害保険ジャパン、中京銀行、日本郵便、パソナ岡山、福岡銀行　【公務員・教員】高知県庁、愛媛県庁、高知県警察、高知市役所、和歌山市役所、伊方町役場、大豊町役場、太子町役場　【大学院進学】高知大学大学院、兵庫教育大学大学院

霜田 博史 准教授（群馬県出身）

【専門分野】財政学、地方財政論
【研究テーマ】ドイツ統一後の連邦財政調整制度、地方財政調整制度に関する日独比較研究
【学位】博士（経済学）
【著作】『限界集落の生活と地域づくり』（共著）
『地方交付税改革議論と財源保障機能の意義』（単著）
『ドイツ統一後における垂直的財政調整の展開』（単著）
『現代ドイツ州間財政調整の意義と限界』（単著）他多数

卒業生からのメッセージ

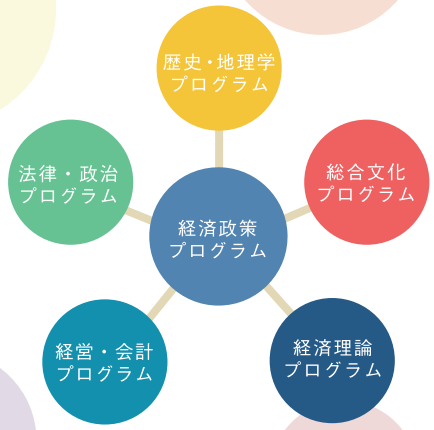
高知市役所　津嘉山 周さん

（沖縄県出身、沖縄県立開邦高等学校卒業）

高知市職員は、地域社会の最前線で多様な問題解決が求められていますが、社経での専門にとらわれずに幅広く総合的に学ぶことができるカリキュラムや、少人数ゼミで磨かれた経験が現在の仕事でも非常に役立っています。多くの方と出会い、刺激を受けた社経での濃密な４年間は私の一生の財産であり、これからも誇りに思います。

プラットフォームと各プログラムの相性

経済政策プログラムでは、地域から問題を抽出することで現代社会制度に関する諸課題に取り組んでいます。社会科学コースの他プログラムを学習することで法律や企業行動、政治制度に関する理解を深め、より具体的かつ効果的な解決策を模索することができます。また、歴史・地理学プログラムや総合文化プログラムを通じて地理や各地域特有の文化について学習することは、地域問題の抽出とその一般化を行う上でも関係性が深いと言えます。



ゼミ紹介

ゼミの概要

今年度の霜田ゼミでは、人々の暮らしに関係する課題について整理し、地方行財政の関わりによって解決できること、また、解決できていないのであれば、その原因はどのようなことに基づくのかということについて、主に生活保護など社会保障制度の側面から検討を行い、1年間かけて論文にまとめていきます。

ゼミの雰囲気

ゼミでは、学生同士の議論を大切にするようにしています。大学の学びの特徴の１つは、知識を吸収するだけでなく、課題を自分の頭で考え、他者に理解してもらえるように発表する力も身に付けることにあるからです。一方向ではなく双方向の学びによって、学生が主体性を持てることを大事にしています。

ある3年生の「経済政策プログラム」時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限					
2時限		金融論			
3時限	地方財政論	中国経済社会論	マネー＆税法入門	国際水産開発論	商法Ⅰ
4時限	組織の経済学	専門演習		宗教思想論	
5時限					